

「健康経営銘柄」への選定について

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループCEO 永野 毅、以下「当社」)は、健康経営に優れた企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄 2019」に選定されました。2016年から4年連続の選定となります。

また、当社を含むグループ会社6社が、「健康経営優良法人・大規模法人部門(ホワイト 500)」に認定されましたので、あわせてお知らせします。

※本内容は、経済産業省からも2月21日にニュースリリースが行われています。

1. 「健康経営銘柄」「健康経営優良法人」について

「健康経営銘柄」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定するものです。

長期的な視点から、企業価値の向上を重視する投資家にとって、「魅力ある企業」として紹介することを通じ、「健康経営」の取り組みの促進を目指しています。

第5回目となる今年は、28業種から37社が選定されました。なお、当社は**2016年から、4年連続の選定**となりました。



「健康経営優良法人・大規模法人部門(ホワイト 500)」とは、大規模法人のうち、保険者(健康保険組合等)と連携して優良な健康経営を実践している法人を認定・公表する制度です。

東京海上グループでは、当社、東京海上日動火災保険株式会社、および東京海上日動あんしん生命保険株式会社が3年連続で認定、東京海上日動システムズ株式会社、および東京海上日動メディカルサービス株式会社が2年連続で認定、東京海上日動リスクコンサルティング株式会社が初認定されました。

2. 東京海上グループの取り組み

東京海上グループの目指す「Good Company」を創る原点は健康経営そのものである、という理念のもと、「健康増進」「生活習慣の改善」「重症化予防」「メンタルヘルス」等の課題に対してきめ細かく施策を立て、取り組みを進めています。

東京海上日動では、各拠点のリーダーと、全国46カ所に配置している産業保健スタッフが連携し、Webツールを活用した全員参加型の健康増進策「健康チャレンジ」を展開しています。

また、ストレスチェックの機会を活用して職場活性度を確認し、健康関連リスクとの相関分析して施策の改善に活かすことや、健康情報を正しく理解するためのセルフチェックアンケート等を実施し、全社員が健康リテラシーを向上させること等に努めています。

これからも社員の健康度の向上とお客様企業への支援の強化を図り、健康経営のさらなる普及・拡大に努めて、社会的課題の解決に貢献できるよう取り組んでまいります。

以上